

授業科目名	都市と観光	科目コード	G2503P04
英文名	Urban Tourism		

科目区分	観光専攻科目 - 地域観光
------	---------------

職名	教授	担当教員名	助重 雄久
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	水曜日	時限	1限目
開講時期	3年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>「都市」の性格や規模はさまざまであり、それぞれの都市の性格や規模に合った観光を考える必要がある。この授業では、テーマ で歴史・伝統を活かした都市観光の展開や課題、テーマ で現代的な地域資源を活かした都市観光の展開や課題について学ぶ。テーマ では、高岡市のまちなか観光を活かせる地域資源の掘り起こしについて、フィールドワーク(現地観察)も交えながら考える。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	都市観光	歴史的な地域資源	現代的な地域資源	フィールドワーク
-------	------	----------	----------	----------

到達目標	プロローグおよびテーマ : 都市の性格や規模によって活かせる地域資源が異なることを理解するとともに、歴史的な地域資源を活かす方策を考えることができる。
	テーマ : 現代的な地域資源を都市観光に活かせる方策を考えることができる。
	テーマ : 小都市で観光を活かせる地域資源を探索し、それらを活用する方策を考えることができる。

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	観光に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業ガイダンス 授業の進め方や評価に関する詳細説明	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	プロローグ 都市の性格・規模と観光資源(1) 人口規模でみた都市の分類と階層性について学ぶ。	
	【予習】	
	【復習】配布したプリントを読み返し、理解しておくこと。	30分
第3回	プロローグ 都市の性格・規模と観光資源(2) 日本における都市観光の成立基盤について学ぶ。	
	【予習】	
	【復習】配布したプリントを読み返し、理解しておくこと。	30分
第4回	テーマ 歴史を活かした世界と日本の都市観光(1) 門前町における地域活性化への取り組みについて、三重県伊勢市等の事例から学ぶ。	
	【予習】	
	【復習】配布したプリントを読み返し、理解しておくこと。	30分
第5回	テーマ 歴史を活かした世界と日本の都市観光(2) 城下町における地域活性化への取り組みについて、宮崎県日南市飫肥地区の事例から学ぶ。	
	【予習】	
	【復習】配布したプリントを読み返し、理解しておくこと。	30分
第6回	テーマ 歴史を活かした世界と日本の都市観光(3) 前回に続き、城下町における地域活性化への取り組みについて、宮崎県日南市飫肥地区の事例から学ぶ。	
	【予習】	
	【復習】配布したプリントを読み返し、理解しておくこと。	30分
第7回	テーマ 現代の資源を活かした世界と日本の都市観光(1) 「食」を活かした都市観光について、さなざまな事例を通して学ぶ。	
	【予習】	
	【復習】配布したプリントを読み返し、理解しておくこと。	30分

第8回	<p>テーマ 現代の資源を活かした世界と日本の都市観光(2) 「夜」を活かした都市観光について、富山と金沢の取り組み等を比較しながら学ぶ。</p>	
	【予習】	
	【復習】配布したプリントを読み返し、理解しておくこと。	30分
第9回	<p>テーマ 現代の資源を活かした世界と日本の都市観光(3) 「冬」を活かした都市観光について、ドイツや旭山動物園の事例を見ながら学ぶ。</p>	
	【予習】	
	【復習】配布したプリントを読み返し、理解しておくこと。	30分
第10回	<p>テーマ 現代の資源を活かした世界と日本の都市観光(4) 世界有数の観光都市・シンガポールにおける都市観光の成り立ちや展開について、写真やデータを見ながら考えていく。</p>	
	【予習】	
	【復習】この授業で出された設問について、次回授業までに自分なりの答えを考えておくこと。	60分
第11回	<p>テーマ 現代の資源を活かした世界と日本の都市観光(5) 世界有数の観光都市・シンガポールにおける都市観光の成り立ちや展開について、写真やデータを見ながら考えていく。</p>	
	【予習】	
	【復習】第9～10回の授業内容を振り返り、理解しておくこと。	30分
第12回	<p>テーマ 高岡市のまちなか観光を考える(1) 現地観察のルートや注意事項、注意深く観察して欲しいこと等について説明する。</p>	
	【予習】	
	【復習】実施要領を読み、現地観察の趣旨や内容をよく理解しておくこと。	60分
第13回	<p>テーマ 高岡市のまちなか観光を考える(2) 高岡市街地において、現地観察(フィールドワーク)を行い、埋もれている地域資源を掘り起こす。 6月下旬～7月上旬の土・日曜日に実施予定</p>	
	【予習】現地観察にもっていくものを事前に準備しておくこと。	60分
	【復習】現地観察の際に書いたメモや、収集した資料・写真等を整理し、プレゼンテーションができるよう準備しておくこと。	60分
第14回	<p>テーマ 高岡市のまちなか観光を考える(3) 第13回のフィールドワークをもとに、高岡市街地の地域資源のプロモーションを行う(プレゼンテーション1回目)。</p>	
	【予習】プレゼンテーションファイル(PowerPoint)を作成しておくこと。	120分
	【復習】他の受講生のプレゼンはどのような点が良かったのかを振り返り、今後の自分の発表に反映させること(他の学生の発表に対するコメントを提出させ、評価対象とする)。	30分
第15回	<p>テーマ 高岡市のまちなか観光を考える(4) 第13回のフィールドワークをもとに、高岡市街地の地域資源のプロモーションを行う(プレゼンテーション2回目) 授業アンケート</p>	
	【予習】プレゼンテーションファイル(PowerPoint)を作成しておくこと。	120分
	【復習】他の受講生のプレゼンはどのような点が良かったのかを振り返り、今後の自分の発表に反映させること(他の学生の発表に対するコメントを提出させ、評価対象とする)。	30分

第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>受講態度や発言・質問への回答(40点)、テーマ のレポート(到達目標 : 20点)、テーマ の授業内レポート(到達目標 : 20点)、テーマ のプロモーションの内容と発表の相互評価(到達目標 : 20点)。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。</p> <p>【注意】レポートや発表による評価なので、再試験は実施しない。</p> <p>【ディプロマポリシー配分比率】 人間性：10%、 社会性：20%、 専門性：70%</p>
------	--

使用資料 <テキスト>	プリント・スライド等を用いて講義を進めるが、参考となる文献があればその都度紹介	使用資料 <参考図書>	「旅に出たくなる地図・日本」(帝国書院)
----------------	---	----------------	----------------------

授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> 授業でとりあげた地域の地名・位置や地域概況は、必ず授業時間外に地図や各地域の観光協会・自治体等のホームページで確認しておくこと。
--------	--

授業外質問方法	<ul style="list-style-type: none"> 研究室で随時受けつける(授業・会議・出張等で不在の時間帯を除く)。 Eメール(t-suke@tuins.ac.jp)でも受けつける。Eメールの場合は件名と発信者の名前を明記すること。
---------	--

オフィス・アワー	木曜 12:45-14:00 研究室
----------	--------------------